

1 国語に関する調査

【特長】

- ・話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる問題の正答率が高い。
- ・文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。また、具体と抽象など、情報と情報との関係を正しく読み取り、文章の要点を理解している。

【課題】

- ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことに課題がある。音読練習などを通して日常的に古文に触れ、音の響きやリズムに慣れる必要がある。
- ・読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。また、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題がある。特に説明的文章では、論の展開を整理しながら読む力を付ける必要がある。

2 数学に関する調査

【特長】

- ・数と整式の乗法の計算問題の正答率が高く、通分や分配法則を用いた計算方法を正しく理解することができる。
- ・データの活用の領域における正答率が高く、累積度数の意味を理解し、その度数を求めることができる。

【課題】

- ・数の概念や、数量の関係における用語の理解に課題が見られる。新しい概念や用語について、丁寧に学習に取り組む必要がある。
- ・図形の領域における正答率が低く、空間内に存在する平面についての理解や、ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することに課題が見られる。事象を数学的に捉える力を育成する必要がある。

3 英語に関する調査

【特長】

- ・日常的な話題について、複数の情報が含まれるまとまりのある内容の英語を聞き、目的に応じて知りたいことや欲しい情報などを正確に聞き取る問題では、多くの生徒ができていた。
- ・自分の置かれた状況などから何が自分にとって必要な情報であるのか判断した上で聞き取る力が身に付いている。

【課題】

- ・社会的な話題について、ある程度の情報が入ったまとまりのある説明文などから、より重要な情報は何かを判断することに課題が見られる。
- ・音声や語彙、表現、文法や言語の働きなどの知識を活用し、伝えたいことについての情報を正確に書く学習指導にさらに取り組む必要がある。

【特長】

- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思える生徒の割合がとても高い。これは、道徳の時間を要として、学校の教育活動全体を通じ、生徒の発達の段階にあわせて、適切な指導を積み重ねてきた結果と捉えることができる。
- 自分には、よいところがあると答えた生徒の割合が高い。これは自己肯定感が高いと捉えることができる。今後も、学校全体で生徒一人ひとりの良いところを伸ばす活動を大事にしていく。

【課題】

- 先生が授業やテストで間違えたところや理解していないところについて分かるまで教えてくれると感じている生徒の割合が低い。復習の時間の確保やICT機器を活用して個に対応するなど、授業づくりに取り組んでいく。
- 今住んでいる地域の行事に参加する生徒の割合が低い。これは、コロナ禍によるさまざまな制限によると考えられる。よりよい社会のあり方や社会参画について考える機会を増やしていきたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 文章を読むことを通して語彙を豊かにし、考えを深めたり生徒の表現の幅を広げたりできるような授業づくりに取り組んでいく。
- 文脈に応じて理解した文法事項を正しく活用したり、活用することを通して文法事項を理解したりする授業づくりに取り組んでいく。
- 物事を深く考え、表現力を身に付けるために、生徒と教師、生徒同士の双方向のコミュニケーションを大切にしたい授業づくりに取り組んでいく。
- 将来に向け、明るい夢と希望を抱く生徒を育成するために、三年間を見通し、生徒の個性や適性を伸ばす進路指導のあり方について研究していく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方知っておいていただきたいこと

- 学校目標「活気あふれる温かい学校づくり」の土台には、3度の安定した食事の摂取があってこそと捉えています。ご家庭のご協力を宜しくお願いします。
- 携帯電話やスマートフォンを利用するにあたり、ルールやマナーについて、引き続き、ご家庭でもご指導をお願いいたします。
- 地域活動が再開し、ボランティア活動に主体的に取り組む機会が増えてきています。地域の方々との関わりの中で社会性などを育てたいと願っています。地域の一員として成長できるよう、見守りをお願いいたします。